

### ふれあい活動について

1年生～6年生の全校児童で縦わりのふれあい班を編成し、ふれあい遊びを通して仲を深めました。今年度は感染症対策を取り、活動内容を精選して、できることを考えながら取り組みました。主な活動は以下の通りでした。

- ・ふれあい班はじめましての会（7月）…各班の6年生リーダーが司会になり、顔合わせと自己紹介を行いました。  
6年生が班のマスコットキャラクターを考え、キャラクター付きの名札を作りました。
- ・ふれあいタイム（9月、11月、1月）…リーダー中心とした6年生が遊びの内容を計画し、外や教室で遊びました。  
安心・安全にできる遊びになるよう工夫し、どの班も楽しい時間となっていました。

高学年児童は、下級生の世話をしながら率先して活動することにより、他者を思いやる言動の大切さや、頼りにされたり必要とされたりする喜びを知り、リーダーとしての責任感が身に付きました。中学年児童は、高学年に協力しながら、低学年に優しく接するお兄さん、お姉さんとして楽しく活動しました。低学年児童は、上の学年に知り合いができ、安心して学校生活を送れるきっかけにもなっていたように感じました。今後も、集団の一員としてよりよい人間関係を築いていけるよう、一層活動を充実させていきたいと思えます。

### G I G A構想について

G I G A構想とは、「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「すべての子どもたちを世界とイノベーションの入り口に立たせよう。」という意味です。国の教育施策の一つである本構想は、児童一人につき一台のiPad端末を貸与し（5月中旬ごろの予定）、それらの機器を活用して①「**学びの改革**」（デジタル教材の活用・遠隔教育など）②「**心と体のケア**」（オンライン相談など）③「**学校と家庭との連絡調整**」（アンケート集計・迅速な情報提供など）を実現することを目的としています。

今年度、本校におきましても、校内LANの整備を実施するとともに、保護者の皆様にご協力いただくことで授業向け支援アプリ「ロイロ・ノート・スクール」の活用について試行することができました。また、日頃の授業におきましても、各教職員がICT支援員と協力するなどして、プログラミング教育による情報活用能力の育成を目的とした授業実践に取り組みました。

### 特別支援教育について

どの子も多かれ少なかれ、得意なことや苦手なことがあります。学校という大きな集団の中では、時としてその子のもつ苦手さのために、学習がうまくいかない、友達との関係がうまく構築できないなどの困り感が生まれます。適切な教育内容及び適切な場面で支援をすることで、児童一人ひとりが必要な力を伸ばし、安心して学習や生活に取り組みできるようにしていくことが特別支援教育のねらいです。

#### 【具体的な取組】

- ・児童一人ひとりの困り感を職員で理解するように情報を交換しています。  
全ての職員で情報を共有し、どういう手立てをとることが、その子にとって良いのかを話し合っています。また、適切な指導や支援の仕方について研修会を開いたり、学んだりしています。
- ・できるだけ視覚的に見える教材や資料を使い、どの子もわかるような手立てを学年で考えて授業を行いました。
- ・毎月アンケートをとり、児童の困り感に寄り添うようにしてきました。（いじめも含む）
- ・複数の教員で授業を指導（入り込み）・ゆっくりわかるまで自分のペースで取り組める授業（チャレンジルーム）の運用を計画的に行っていました。取り出し授業は事前に本人と保護者の同意を必要としますが、いつからでも始められるように体制を整えています。
- ・通級指導教室や療育センター、また学校カウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門家の先生方と連携を取り、学習の仕方や学級の運営の仕方についてアドバイスをいただいて、校内で生かすようにしています。

### 教科担任制、交換授業について

4・5・6年生は、理科・社会・家庭科・図工の教科担任制を行っています。教科担任制は子ども達は担任の先生以外にも相談できるよさやクラスの問題の早期発見になり、児童理解が深まっています。2・3年生は、単元よっての教科の交換授業や指導領域によって学年全体で指導体制を工夫する取り組みを行っています。子ども達は「いろいろな先生たちから勉強を教えてもらえてうれしい。」という声があります。

### 重点研究について

「主体的・対話的に学び合い、自分の考えを伝え合う力を高める学習をめざして」を研究主題として、3年間取り組んできました。今年度は、新学習指導要領の全面実施にともない、サブテーマに「指導の工夫と仕方」を加え、研究を進めてまいりました。

昨年度、課題としてあがった“話し合いを深める指導の工夫”を意識し、今年度は考えを共有するためにホワイトボードを活用するなどして、考えを出し合い、伝えたり、深めたり、まとめたりする力が高まってきました。引き続き、教科の中だけでなく、生活の中でも主体的・対話的に学び合い、子どもたちの伝え合う力を高めていけるように取り組んでいきます。

令和2年度 学校評価							
保護者アンケート集計結果報告							
4点～1点の合計数を各項目の総回答者数で割り、平均値を算出しました。							
	項 目	4	3	2	1	計	達成度
1	学校の教育方針や目指す目標は、学校だよりを通して保護者に伝えられている。	142	174	20	3	339	3.3
		568	522	40	3	1,133	
2	学校は、アンケート・面談などを通して子どもの実態をとらえ、学校教育に生かしている。	120	186	29	1	336	3.3
		480	558	58	1	1,097	
3	新しい生活様式の下、個人面談など、保護者と学校が話す機会がある。	140	174	40	3	357	3.3
		560	522	80	3	1,165	
4	学校では、学校生活に必要なきまりをまとめた「神橋ルール」(学校インフォメーションで、各家庭に配付)のもと指導を行い、子どもたちが規律を守り落ち着いた学校生活が送れるように努めている。	143	186	13	1	343	3.4
		572	558	26	1	1,157	
5	学校は、一人ひとりに必要な教育的配慮について共通理解をしながら、子どもたちが安心して生活できるように支援をしている。	132	176	29	2	339	3.3
		528	528	58	2	1,116	
6	学校は日ごろから子どもたちが「自己肯定感」をもてるような場面(行事なども含めて)をつくるとともに、互いの違いや良さを認めあえるような心情・態度を育てている。	148	165	28	0	341	3.4
		592	495	56	0	1,143	
7	学校は、「読む」「書く」「聞く」「話す・話し合う」「計算」などの基本的な指導により、学習の基礎的能力の育成を図っている。	153	177	19	1	350	3.4
		612	531	38	1	1,182	
8	学校は、一人ひとりが自分の学力状況をつかみ、めあてをもって学力向上に努められるよう、支援している。	102	192	43	7	344	3.1
		408	576	86	7	1,077	
9	学習の基本や学習規律の指導を充実させるとともに、誰にでもわかりやすい授業が行えるよう、努力している。	130	177	26	3	336	3.3
		520	531	52	3	1,106	
10	子どもたちが「なわとび運動」(朝のなわとび運動)を自分のめあてをもって継続的に取り組めるよう支援し、子どもたちの体力増進に努めている。	128	168	27	4	327	3.3
		512	504	54	4	1,074	
11	食育教育・健康教育の推進や手洗い励行を通して、丈夫な体づくりに対する意識を育てている。	168	165	17	0	350	3.4
		672	495	34	0	1,201	
12	学校は、防災防犯上の安全管理に努力している。	161	152	26	3	342	3.4
		644	456	52	3	1,155	
13	学校は、新しい生活様式に合わせて、学校の施設や環境をよりよくしようと努力している。	139	167	23	3	332	3.3
		556	501	46	3	1,106	

新しい生活様式、新学習指導要領の実施の下、項目内容を見直しました。どの項目も高い評価でした。特に日ごろの認め合える心情・態度の育成や学習の基礎的能力の育成、体づくりの意識への評価が高くなっています。 今後は、一人ひとりの学力状況を一層正確につかみ、学力向上に努めていきます。

## 児童アンケート集計結果報告

4点～1点の合計数を各項目の総回答者数で割り、平均値を算出しました。

								計	達成度
1	低	学校教育目標を知っている	低高合計人数	289	150	55	50	544	3.2
	高	学校教育目標を知っている	低高人数×点数	1,156	450	110	50	1,766	
2	低	学校へ来るのが楽しい	低高合計人数	324	175	36	11	546	3.5
	高	学校へ来るのが楽しい	低高人数×点数	1,296	525	72	11	1,904	
3	低	友達と仲良く学校生活を送っている。	低高合計人数	399	120	22	10	551	3.6
	高	友達と仲良く学校生活を送っている。	低高人数×点数	1,596	360	44	10	2,010	
4	低	学校のいろいろな行事に楽しく取り組める。	低高合計人数	334	169	34	10	547	3.5
	高	学校の授業や活動で「わかった！」「やったね！」という気持ちをあじわえる。	低高人数×点数	1,336	507	68	10	1,921	
5	低	先生は、落ち着いて楽しく勉強するクラスづくりに取り組んでいる。	低高合計人数	420	102	22	5	549	3.7
	高	先生は、落ち着いて楽しく勉強するクラスづくりに取り組んでいる。	低高人数×点数	1,680	306	44	5	2,035	
6	低	先生は、落ち着いて楽しく勉強するクラスづくりに取り組んでいる。いじめを許さないクラスづくりに取り組んでいる。	低高合計人数	392	114	28	12	546	3.6
	高	先生は、いじめを起こさせない、起きた場合にはすぐに対応するなど、いじめを許さないクラスづくりに取り組んでくれていますか。	低高人数×点数	1,568	342	56	12	1,978	
7	低	授業がわかりやすいと思う。	低高合計人数	371	135	34	8	548	3.6
	高	先生の授業は、質問や説明、黒板の文字もわかりやすく、いつも楽しく工夫して取り組んでくれていますか。	低高人数×点数	1,484	405	68	8	1,965	
8	低	学習のめあてがはっきりしている。	低高合計人数	359	163	22	6	550	3.6
	高	先生の授業は、「学習のめあて」がはっきりし、それに向かって「やる気」をもって進んで取り組めるようにしてくれていますか。	低高人数×点数	1,436	489	44	6	1,975	
9	低	先生は、落ち着いて楽しく勉強するクラスづくりに取り組んでいる。いじめを許さないクラスづくりに取り組んでいる。	低高合計人数	418	108	22	3	551	3.7
	高	先生はみんなのお話や考えを大切にし、最後まで聞いてくれていますか。	低高人数×点数	1,672	324	44	3	2,043	
10	低	すすんであいさつや返事をしたり、学校のルールを守っている。	低高合計人数	267	232	36	15	550	3.4
	高	進んであいさつや返事をしたり、学校のルールを守っていますか。	低高人数×点数	1,068	696	72	15	1,851	
11	低	手洗いをし、3みつに気を付けている。	低高合計人数	341	168	26	14	549	3.5
	高	手洗いをし、3密に気を付けるなど、健康な体づくりを心がけていますか。	低高人数×点数	1,364	504	52	14	1,934	

新しい生活様式、新学習指導要領の実施に伴い、項目を見直しました。どの項目も高い評価となっています。落ち着いて学習に取り組んでいる様子が児童の評価にも表れています。 今後は、さらに学校目標を意識して活動していきます。

重点取組分野	令和 2 年度	
	具体的取組	自己評価結果
生きてはたらく知	①全学級にて「主体的・対話的な深い学び」の具現化に向け、個を大切に、日々児童が主体的に学ぶ授業改善に取り組んでいく。②重点研究テーマ、「生活・総合」の研究を通して、主体的に問題解決していく力を育成するとともに、市学状の「活用力」の通過率を、全学級全調査対象教科において50%以上を達成目標とする。	①全学級にて「主体的・対話的な深い学び」の具現化に向け、日々児童が対話的に学ぶ授業改善に取り組んだ。②重点研究、各教科の部会にて主体的に問題解決していく姿の研究を深めた。3年度の市学状の「活用力」の通過率を、全学級全調査対象教科において50%以上を目指す。
豊かな心	①ふれあい活動を更に発展・充実させていくとともに、それぞれの学年が自分の役割を意識して活動していく中で、子ども達の自尊感情を高め、「6年生」として育てていく。②地域とのふれあいを大切に、「まち」や「ひと」とのつながりを活かした教育活動を展開していく。	①回数や活動内容に限りがあったが、それぞれの学年が自分の役割を意識して活動していく中で、子ども達の自尊感情を高め、「6年生」として育てた。②地域とのふれあいを大切に、「まち」や「ひと」とのつながりを活かした教育活動を模索した。
健やかな体	①自分から運動に親しみ、体力向上に取り組む姿勢を育成するために、日々の体育学習の充実を図るとともに、一校一実践や体育的行事に取り組む。②自ら生活習慣の改善、健康増進や健康な生活を送ろうとする意識と実践力を高めるため、食育や保健活動、学校保健委員会の充実を図っていく。	①自分から運動に親しみ、体力向上に取り組む姿勢を育成するために、日々の体育学習の充実を図るとともに、感染対策を講じながら場づくりに取り組んだ。②自ら手洗いの生活習慣の定着、健康増進や健康な生活を送ろうとする意識と実践力を高めるため、食育や保健活動、学校保健委員会の充実を図った。
児童生徒指導	①「かみはしルール」を家庭・学校が共有し、指導・支援を行うとともに、子ども達の考えも取り入れた見直しも、代表委員会との連携の中で図っていく。②教科担任、交換授業を全学年で実施し、学年児童全員に関わりながら指導にあたる。③職員会議・校内委員会にて、情報交換を適時行い、共通した指導・支援にあたる。	①「かみはしルール」を新しい生活様式に応じて、見直した。家庭・学校が共有し、指導・支援を行った。②教科担任、交換授業を全学年で実施し、学年児童全員に関わりながら指導にあたった。③職員会議・校内委員会にて、情報交換を適時行い、共通した指導・支援にあたった。
特別支援教育	①適切な特別支援教育を行うため、関係機関との連携や研修を実施していく。②取り出し・入り込み指導の少人数指導を充実させ、個の力を伸ばしていく。③教室、言語環境等においてユニバーサルデザイン教育を理解し、環境整備を整える。	①適切な特別支援教育を行うため、関係機関との連携や定期的に、研修を実施した。②取り出し・入り込み指導の少人数指導を充実させ、個の力を伸ばした。目指す資質を教師間で共通理解を図っている。③教室、言語環境等においてユニバーサルデザイン教育を理解し、環境整備を整えている。
地域連携・学校運営協議会	①六中ブロック学校運営協議会の効果的で円滑な運営に取り組み、地域や保護者に向けて情報を公開する。②地域の歴史、六角橋商店街、岸根公園等を学習に活かし、地域の教育力を活用しながら体験的な学習を充実させるとともに、多くの人とのふれあいを通し、まちを愛し、人を愛す心情を育んでいく。	①六中ブロック学校運営協議会の効果的で円滑な運営に取り組み、地域や保護者に向けて情報を公開する方法を模索した。②岸根公園等を学習に活かし、体験的な学習を充実させるとともに、できる限りふれあいを通し、まちを愛し、人を愛す心情を育んだ。
安全教育	①避難訓練、防災訓練、不審者対応訓練を月一回実施し、自分の命、安全を自分の力で守れるよう、知識や判断力を身に着けていく。②訓練の振り返りを活かし、マニュアル等について、適時改善を行っていく。	①避難経路、避難の約束の確認、防災訓練、不審者対応訓練を実施し、自分の命、安全を自分の力で守れるよう、知識や判断力を身に着けることを継続した。②訓練の振り返りを活かし、マニュアル等について、適時改善を行った。





R元年度	中期学校経営方針	
項目	取組目標	自己評価結果
1生きてはたらく 知	①全学級にて「主体的・対話的な深い学び」の具現化に向け、個を大切に、日々児童が主体的に学ぶ授業改善に取り組んでいく。②重点研究テーマ「生活・総合」の研究を通して、主体的に問題解決していく力を育成するとともに、市学状の「活用力」の通過率を全学級全調査対象教科において50%以上を達成目標とする。	①全学級にて「主体的・対話的な深い学び」の具現化に向け、個を大切に、日々児童が主体的に学ぶ授業改善に取り組んでいる。②重点研で生活総合に力を入れて各クラス取り組んでいることが主体的な学びにつながっている。
2豊かな心	①ふれあい活動を更に発展・充実させていくとともに、それぞれの学年が自分の役割を意識して活動していく中で、子ども達の自尊感情を高め、「6年生」として育てていく。②地域とのふれあいを大切に「まち」や「ひと」とのつながりを活かした教育活動を展開していく。	①ふれあい活動も長くなり、学校として異学年同志の交流が盛んになっている。また、高学年の学校を引っ張るリーダーという意識も高まってきているように思う。②生活総合に力を入れている成果として、地域や人とのつながりを意識した活動が各クラス増えていると思う。つながった人の情報は次年度以降にもしっかり引き継いでいく。
3健やかな体	①自分から運動に親しみ、体力向上に取り組む姿勢を育成するために、日々の体育学習の充実を図るとともに、一校一実践や体育的行事に取り組む。②自ら生活習慣の改善、健康増進や健康な生活を送ろうとする意識と実践力を高めるため、食育や保健活動、学校保健委員会の充実を図っていく。	①日ごろからなわとびなどの運動を体育の学習の準備運動などで取り入れていれ、継続している。 ②なわとびやマラソンなど、できるときにできるだけ行っているため、学校としては取り組んでいると思う。
4児童・生徒指導	①「かみはしルール」を家庭・学校が共有し、指導・支援を行うとともに、子ども達の考えも取り入れた見直しも代表委員会との連携の中で図っていく。②教科担任、交換授業を全学年で実施し、学年児童全員にかかわりながら指導にあたる。③職員会議・校内委員会にて、情報交換を適時行い、共通した指導・支援にあたる。	①かみはしルールが定着してきた。これから子どもたちが主体的に考えられるように、ルールに疑問を感じたら、代表委員会やクラスで話し合う活動を増やしていきたい。②教科担任や交換授業は、学年児童理解の面でとても良いと思う。また、同じ強化を多くすることで指示や授業の流し方にも工夫できることがはっきりわかってよい。
5特別支援教育	①適切な特別支援教育を行うため、関係機関との連携や研修を実施していく。②取り出し・入り込み指導の少人数指導を充実させ、個の力を伸ばしていく。③教室、言語環境等においてユニバーサルデザイン教育を理解し、環境整備を整える。	①教室の掲示物の貼り方や板書など研究会などで検討している。②少人数指導を充実させ、個の力を伸ばしている。③学年を通して、ユニバーサル教育を理解し、環境整備を行っている。
6安全教育	①避難訓練、防災訓練、不審者対応訓練を月一回実施し、自分の命、安全を自分の力で守れるよう、知識や判断力を身に着けていく。②訓練の振り返りを活かし、マニュアル等について、適時改善を行っていく。	①避難訓練、防災訓練、不審者対応訓練を月一回実施し、自分の命、安全を自分の力で守れるよう、知識や判断力を身に着けている。②訓練の振り返りを活かし、マニュアル等について、適時改善を行っている。
7地域連携	①六中ブロック学校運営協議会の効果的で円滑な運営に取り組み、地域や保護者に向けて情報を公開する。②地域の歴史、六角橋商店街、岸根公園等を学習に活かし、地域の教育力を活用しながら体験的な学習を充実させるとともに、多くの人とのふれあいを通し、まちを愛し、人を愛す心情を育てていく。	①卒業の時期に中学校の先生に授業をやってもらったり、中学校の先生と子どもとのふれあいをふやしたい。②生活科や総合の学習の時間を通して、地域の歴史、六角橋商店街、岸根公園等を学習に活かし、地域の教育力を活用しながら体験的な学習を充実させるとともに、多くの人とのふれあいを通し、まちを愛し、人を愛す心情を育んだ。
8人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた課題・目標を、行動計画書をもとに管理職面談により設定して学校運営に参画する。②メンターチームを学校長直属の傘下組織として位置づけ、学校のネオリーダー・ニューリーダーとして教師力・授業力・人間力の向上と、プロの教育者としての意識と技能の向上を目指す。③ミライムを活用し、情報の共有化、自部の効率化・簡便化を図るとともに、教育活動外業務を見直し、働き方改革につなげる。	①キャリアステージに応じた課題・目標を、行動計画書をもとに管理職面談により設定して学校運営に参画した。②授業力向上はメンターチームで向上を目指して頑張っていたと思う。いろいろな先生の授業をみたり、他校の授業を見ることも授業力向上の手立てになった。
9いじめへの対応	①学校いじめ防止基本方針に基づき、年3回以上のアンケートや全員面談を確実に実施し、児童の状況把握を行い、些細な変化も見逃さない体制づくりをする。②隔週の学年主任会を定期いじめ防止対策委員会と兼用し、組織的対応力を常に高めておく。③基本方針に基づき、保護者・関係機関との連携を推進する。	①毎月、アンケートを行い、児童の状況把握を行い、些細な変化も見逃さず、いじめの未然防止につながった。②隔週の学年主任会を定期いじめ防止対策委員会と兼用し、組織的対応力を常に高めている。③基本方針に基づき、保護者・関係機関との連携を推進した。
ブロック内相互 評価後の気付き	・授業研究会では、小中一貫9年間を見通して大切にすべき指導や、共通理解後の成果が話し合われた。今後、さらに学習活動に反映していくことの必要を感じた。各教科ごとに意見を交換することにより、児童生徒理解が深まり、学校ごとの特色に加え、ブロック内の研究の視点が明確になった。	